

中学校区におけるめざす子ども像	【確かな学び】他者の意見を聴き自分の考えを広げたり深めたりすることができる子ども 【豊かな心】正しい人権意識を持って行動し、自他の良さを認め合うことができる子ども 【健やかな体】心身の健康をはぐみ、自他の生命を大切にできる子ども
-----------------	--

令和7年度 重点目標	◎人権教育を基本とした全ての教育活動の中での豊かな心と健やかな体の育成 ◎自立を育む特別支援教育の推進	◎主体的・対話的で深い学び(聴き合うこと)を通して総合的な学力の向上 ◎家庭・地域と連携した教育の推進	◎安全・安心で良好な教育環境の整備
------------	--	--	-------------------

確かな学びの現状 ・学力調査では、国語算数とも全国平均より上位に位置している児童が多い。また、学力低位層は少ない一方で、学力の両力極分化が見られる。 ・人(大人や友だち)・ものに恵まれた環境に身を置き、安心して健やかに成長している児童が多い。 ・授業に対して「受け身」の姿勢が見られ、「自分から」「自分事として」とらえることが課題。 ・ICT機器を使用する児童は多い一方で、ICT機器を活用して、意見交換や発表する機会が少ない。 ・学習に対する意欲や態度は高い。特に、算数でその結果が顕著にみられる。 ・国語の読むこと・書くこと等校内研修で取り組んできたことが、大きく寄与している。	豊かな心・健やかな体の現状 ・「なかよしタイム」などの縦割活動をとおして、異学年の交流が深まり、高学年において自尊感情の増加がみられる。 ・新体力テストの堺市平均と比べ、3学年以上数値が低い種目は「男子：50m走、ソフトボール投げ」「女子：50m走、20mシャトルラン、長座体前屈」である。 結果から、男女とも該当する「50m走」【瞬発力】と、男子でも2学年にわたり数値が低い、「長座体前屈」【柔軟性】の課題が考えられる。 ・年に2度実施している「こころのアンケート」では、「私は人の役に立ちたいと思っている」に肯定回答している児童は、95%であったのに対して、「私は自分のことが好きである」は83%、「自分にはよいところがある」は88%であった。
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～9月)	達成状況(年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	学力向上	「わかる授業」づくりに取り組み、基礎的な知識・技能を習得させ、学力の向上を図る。	●モジュール(朝学習)や宿題で、国語では漢字の習熟、書く活動を、算数ではプリントやドリルなどで基礎・基本事項の反復を行う。	・全国学力・学習状況調査の基礎・基本の項目で全国平均を上回る。	全国学力・学習状況調査	3学期					
			●自ら考え行動し、学ぶ喜びを味わえる子どもの育成。 自分ごととしてとらえられる課題、本気で向き合える課題を設定し、子どもたちの思考の流れに沿った単元構想を行う。 ●学びを自分ごとにするための視点を取り入れた授業を全学級で実施する。	・総合学習プロフィールにおいて「学びに向かう力」が昨年度の同一集団を上回る。 ・全国学力・学習状況調査の「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」で肯定評価70%以上。	全国学力・学習状況調査 実践報告	毎学期					
	生活・学習習慣の確立	家庭での生活・学習習慣の向上に取り組み、自ら学ぶ子どもを育成する。	「7つのやくそく」「読書習慣」について、懇談や学校だより等で保護者に啓発し、生活・学習習慣の向上を図る。	・学校図書館利用時に読書活動の啓発をする。 ・「生活・学習習慣の向上を図っている」で肯定評価昨年度以上 ・「家でもよく読書をしている」で肯定評価昨年度以上	実践報告 学校アンケート 児童アンケート	毎学期 3学期					
			「家庭を学びの環境に」を参考に「家庭学習ノート」に取り組み、家庭学習習慣の向上を図る。	・「子どもは宿題のほかに家庭学習をしている」で肯定評価昨年度以上	学校アンケート	3学期					
	ICT	学年に応じたICTを活用する力を身に付ける。	★中学校での学習に向けて、1人1台のパソコンを活用するなど、ICTを使って学習する。また、家原寺版「情報活用能力チェックリスト」も活用する。	・「じゅ業で本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていますか。」「たくさんのごようほうを集めたとき、じょうほうを整理したり、特に何が大切かを考えたりしていますか。」で肯定評価昨年度以上 ・家原寺版「情報活用能力チェックリスト」肯定評価昨年度以上。	堺市学調 家原寺版「情報活用能力チェックリスト」	3学期					
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	豊かな心を育てるために人権教育・道徳教育を推進する。 自他のよさを見つけ、認められる子どもの育成を図り、子ども一人ひとりの自尊感情を高める。	●人権教育・道徳教育に関して、適切で効果的な指導を行う。 ●各学年の実態に応じた内容の平和学習を行う。 ●自分のよさや頑張りを認められるように、「心のアンケート」を実施する。(年2回) ●なかよしタイムでの異年齢との交流や、各学級での「よいところみつけ」等の取組を通して、仲間づくりを進める。	・正しい人権感覚を身につけ、正しく判断・行動できる。 ・各学級、授業参観時に道徳の授業を行う。 ・「『なかよしタイム』やさまざまな活動で 友だちと仲良く活動できた」で肯定評価80%以上 ・3学期の「心のアンケート」で肯定評価1学期以上。	実践報告 児童アンケート	毎学期 3学期					
			進んで挨拶ができるよう、「あいさつ運動」等を実施し、さまざまな場面で児童が主体的に活動する取組を進める。	・見守り隊の方や来校者などに進んで挨拶している姿が見られる。 ・「自分からよくあいさつをすと思う」「すすんであいさつをしている」で肯定評価昨年度以上	実践報告 学校アンケート 児童アンケート	毎学期 3学期					
			●生活アンケート(いじめ・不登校など)の確実な実施、いじめなどの相談窓口、校内委員会の設置など、日頃から、いじめなどの問題に早期発見・早期解決に取り組む。 ●情報モラル・情報活用能力を身に着けられるよう、学期に1、2回程度の発達段階に応じた授業を計画的に行う。 ●児童のいじめに対する認識や考え方を見つめなおすいじめの啓発授業を行う。	・生活アンケートを学期ごとに全学級で実施し、問題解決に向けて組織的に対応している。 ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」で肯定評価100%	実践報告 全国学力・学習状況調査 堺市学調	毎学期 3学期					
	健やかな体の育成	体力を維持するための運動に取り組み、その基礎となる健やかな体づくりの指導	・「小学校体育指導の手引き」に基づく授業を実践し、体力の向上をめざす。 ・なわとび、かけ足などを中心に、できる限りの運動に組み込み、運動量を増やす。 ・月1回の児童朝礼でリズム体操に取り組み、課題である瞬発力と、柔軟性の向上をめざす。	・全学級で実施	実践報告	毎学期					
			健康教育・食育・眠育などの推進(歯磨き指導、給食指導、派遣栄養士の活用など)	・全学級で実施	実践報告 堺市学調	毎学期					
	安全安心	安心・安全な学校づくり	毎月の安全点検、避難訓練(不審者対応・火災・自然災害)、下校指導など	・学校全体で実施	実践報告	毎学期					
	地域との連携	信頼される学校	学校・家庭・地域が情報や目標を共有し、「つながる・ひろがる」教育を推進する。	地域団体との清掃活動や交流などを行い、児童の地域への愛着を高めるとともに、地域への貢献に努める。	・地域人材を活用した授業、取り組みを実施	実践報告	毎学期				
ホームページ・学校通信・学年通信などを通して、学校の情報発信に努める。				・ホームページ・学校通信・学年通信など	実践報告	毎学期					

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------